

マンダラQ & A

西園寺昌美会長への質問

マンダラを描く意義とその描き方

Q、最初に、マンダラを描くことの意義についてお話ししていただきたいのですが……。

A、宇宙は常に進化を続けながら、その中心から無限なるエネルギーを放射しています。私たちにはいつも、宇宙の中心から無限なる愛、無限なる叡智、無限なる富、無限なるパワー、無限なる大きさ、無限なる広がり、無限なる繁栄等のエネルギーが届いているのです。

しかしながら、宇宙エネルギー自体は、この物質界に形として現われることは出来ません。その無限なるものを形としてこの世に現わすためには、物質界のエネルギーが必要なものです。言い換えるなら、宇宙エネルギー単独では、物質的なものを、何一つ創造することが出来ないということです。た

だ無限なるものを放射しつづけているだけなのです。

ですから、宇宙エネルギーは常に、物質界のほうで宇宙エネルギーを受け止めて、無限なるものを創造してくれる受け皿や場を探しているのです。その宇宙根源の高い響きと共鳴する受け皿には、第一に人間の肉体と声があります。ピラミッドもそうです。また大地や水のように生命（いのち）あるものも含まれます。なぜなら生命とは神そのものだからです。生命即ち神也、神即ち生命也です。大地も水も空気も生きていて、神を顕現しているのです。私たちが大自然に対して畏敬の念を抱いたり、感謝の心が湧いたりするのはそのせいなのです。

今、世界中には60億の人類がいます。その人類は本来、宇宙の無限なるエネルギーと交流できるはずなのに、ほとんどの人々がその方法を知りません。それ故に宇宙エネルギー先生と交流します。ヨーロッパにいた2年の間に課せられた毎日8時間の祈りを通して、私は宇宙エネルギーを降ろす「我即神也の印」というものを得ました。

このように意識を高めれば、人は皆それぞれ独自の方法で宇宙エネルギーを地上に降ろすことが出来るようになるのです。

実際、宇宙エネルギーを降ろす方法は数限りなくあります。決まったやり方というのはないのです。宇宙というものは、印（いん）だけが宇宙エネルギーと交流する唯一の方法だとか、あるいはマンダラだけなのだとか、いや山に登らなくてはだめだとかは、決して言わないのです。

方法は個人個人によって違います。各人の持つ波動の特質や年齢等、さまざまな要素によって違ってくるものです。本来人間というものはそれぞれが、宇宙とつながる独自の方法を開發できるはずなのです。

ただ現在は、ほとんどの人が自分で宇宙のエネルギーとつながるすべを未だ知らずにいるので、その時までとりあえず、私たちのやり方で交流してはいかがでしょうか。

Q、その方法がマンダラであり、印であり、世界平和の祈りと言うわけですね。

は、この物質界で受け器となつて、無限なるものを広めてくれる媒体を常に探しているのです。

この媒体というのはレンズのような働きをします。宇宙エネルギーはこういった媒体を通して、平和、調和という真理の響きをあまねく地上に広げてゆくのです。

神、つまり宇宙エネルギーは、それを受け取り共鳴してくれるものであれば、それがどんな種類の受け皿であつても働きかけてきます。

祈り、印、マンダラ、肉体、発声などいくらでもその媒体となるものは存在していますが、その働きかけ方は、媒体の資質によって異なつてきます。この資質とは、媒体が持つ固有の波動のことです。それぞれの媒体は異なつた波動を持っています。祈りは祈りの波動を、大地は大地の波動を、私たちの肉体もまた肉体の波動を出していますが、それが何であつても、宇宙エネルギーを受け取り共鳴できるものであれば、宇宙エネルギーはそこに働くことになりません。

あなたがこの宇宙の仕組みを真に理解したならば、自分で直に宇宙エネルギーとつながることが出来るようになるのです。そうなれば、宇宙エネルギーをこの地上に降ろし、物質化することが簡単に出来ます。

私の場合は、祈りによって高次元意識の世界に昇り、五井

A. その通りです。実際すでに確立されている、優れた方法を真似るということは、素晴らしいことなのです。

ルノアールやセザンヌやゴッホなどの印象派の優れた近代美術の画家たちのことを考えてみましょう。彼らが自分の作風というものを確立する以前はみな、前の時代に活躍した有名な画家たちの模写をしていました。

印やマンダラも模写のようなものです。私が宇宙の法則の中から我即神也の印と人類即神也の印を降ろし、みんながそれを一生懸命真似しました。そして彼らが私と同じ方法で印を組み、マンダラを描くうちに、やがて独自に、より自分に合った方法を身につけ始めたのです。それは「こうしてみよう」とか「ああやってみよう」とかといった、自然に湧き起こってくる心の動きでした。模倣から始まって、人はやがてより自分に合った、より力を発揮できる方法を発見してゆくのです。これを画家の創作過程にたとえてみましょう。ルノアール、セザンヌ、ゴッホは、いずれも優れた芸術家です。でもどの画家が一番偉大とか、どの画家の絵を模写するといったかは、誰にも言えません。それはひとえにあなたの好みによりますし、あなたが誰の絵に一番感動するかということによります。あなたがルノアールの色使いが好きならば、あなたはルノアールの色を模倣するでしょうし、あなたがセ

ザンヌの色調が良いというのならば、セザンヌの模写から始めればよいことですし、ゴッホの輝くようなカラーが良いとなれば、それを写すことがあなたの練習の始まりです。そして、その模倣をするということから始まったあなたの芸術はだんだん深まり、「次はこうしよう」とか「こうやってみよう」といった内からの創造力が、ついには独自の色彩を生み出していくのです。

偉大な芸術家というものは、皆それぞれ独自の力を持っています。故にそれを見た人は元気づけられるのです。絵画というものはそんな力を持つものなのです。そしてマンダラもそうです。

Q. 模倣することによっても宇宙とつながることか出来ますか？

A. もちろんです。あなたが真に生命の波動を発するものを真似れば、それがそのまま宇宙とつながるのです。あなたが素晴らしい絵を模写すると、その絵の持つエネルギーとつながり、その精神の響きに触れます。人の成した真の創造作品と深く交流することによって、自分が本来持っていた創造力が刺激され、目覚め始めるのです。もちろん真似をする対象物は何でもいいわけではありません。あなたが求める何かを

持っているものであるか、あなたに何かを語りかけるようなものでなければなりません。それに出会うと、あなたは親近感を感じたり、これは何かすごく違うぞ、と感じたりするはずです。そしてそういう神なる作品と出会い、それを模写することによって、あなたはより深く、より高く昇華し、あなたが持っている、輝くばかりの才能が開くのです。私は若い頃、美大生はなんで模写をしなければならぬのだらうと思っていました。でも今はその深い意味が分かりません。模写というのは交流なのです。画家たちが模写する時、彼らはその絵と交流しているのです。だからこそ、本当に自分が尊敬し愛する作品を選ばなければならぬのです。

模写と言っても、多くの人たちが同じ作品を模写した場合、それぞれに違いが出てしまいます。100人がダビンチの絵を模写すれば、100通りもの違うダビンチの絵が出来るのは何故でしょう。それは個性が違う、才能も違い、それぞれに感動する部分も違うからなのです。人はみな積んできた体験も違い、感覚も、エネルギーの特質も違っているので、その人その人によって違ったものが出来上がります。一つとして同じものはありません。絵を通して表現しようとするものは、すべて描く人の感性に委(ゆだね)ねられているのです。

Q. 先生は、「人と会いなさい。時間を割(き)いてでも、人と交流しなさい」と常々おっしゃいますが……。

A. そうですね。人と交わり、話することはとても大切なことです。現代は、人とうまく交流できない若者が増えていきます。そしてそれ故に孤立した感覚になり、それが原因で殺人や残忍な行為に走ることもあります。周りから孤立してしまつと、私たちは本来、生命(いのち)として一つにつながっているものだという感覚を失ってしまうのです。

最近ではコンピューターなどの機械を通してしか、人と付き合えない人が増えていますが、これはとても危険なことなのです。

Q. どんな交流をすればよいのでしょうか。

A. 交流はすべて素晴らしいのです。人とおしゃべりすることも交流。大自然と一体になることも、マンダラのエネルギーや偉大な芸術に接することも、みな価値ある交流なのです。

絵画、彫刻、生け花、宝石、服飾、何でもいいのです。自分のレベルに合った、自己表現のしやすいものと交流すればいいのです。

その対象物を好きだと思えば、尊敬でき、感謝の心が湧くよ

うなものと交流する。それが交流の基本です。

そしてそれを基本にして、自分を高め上げるには何と交流すればよいのか、また何を表現してゆけばよいのかということに常に意識して生きることです。そうすれば最終的には宇宙究極のエネルギーと交流できるようになるのです。

白光真宏会の会員は祈りや印、マンダラなどを通して、自分を高め上げてきた結果、みんなが直接、宇宙究極の光、エネルギーと交流できるようになりました。私たちは富士聖地で毎月1回、宇宙究極の光の一筋と交流しています。

本来はこの3次元世界に、宇宙究極の光の一筋が降り、直接、私たちと交流するなど有り得ないことでした。宇宙究極の光というものは、限りなく微妙な波動ですから、良くて4次元（霊界）までしか到達し得ない光なのです。でも、同じ時に同じ場所で、数千人の人々が心を合せて世界の平和を祈ることによって、その光の一筋がついには地上に届くようになったのです。

地球人類60億の人が一齐にこの行事に合わせて、神なる表現である印を組んでくれたら……という願いは、今は無理かもしれませんが。しかし1万人か2万人なら可能でしょう。毎月、富士聖地での行事に参加している人々は、自らの祈り、印、マンダラによって、常に自分を高め上げ、宇宙エネルギー

次の行に進みます。次の行はまた上に伸びる線の上から、続きの文字を書きます。

こうしてすべての同心円が埋まるまで書きつづけるのです。最後の行が終わりに近づいたら、意識して言葉の最後の文字で終わるように、文字を話めたり開けたりしながら調整してください。

Q. 輪の中にはどんな言葉を書けばいいのでしょうか。

A. どのマンダラを描くかによって違います。宇宙神マンダラならば、二種類あって、一つは“我即神也”と繰り返し書きます。もう一つは“人類即神也”と繰り返し書きます。ただしこの二つは必ずある手順を踏んでからでないと書けませんので、もしお書きになるのであれば、必ず白光真宏会までお問い合わせください。光明思想マンダラと地球世界感謝マンダラはすぐに始めてくださっても結構です。

光明思想マンダラと

地球世界感謝マンダラについて

Q. 光明思想マンダラとはどんなものですか。

A. 光明思想の言葉を書いたマンダラです。光明思想の言葉

とつながるようにしているのです。いつかは世界中の人々が、それぞれのやり方を通して宇宙エネルギーとつながることが出来るようになるでしょう。それまでは、すでに私たちがしているのと同じ方法で行なうのが一番早いと、関心を示してください。人々には話しているのです。

Q. そのマンダラとはどんなものなのか、また世の中の人々によく知られていません。そのところをもう少し具体的に教えていただきたいのです。

A. 私たちが描いているマンダラは丸いものです。そこには宇宙エネルギーを表現する光明の言葉が書かれています。

Q. どうやって描くのですか。

A. まず紙に、等間隔で大きくなるいくつもの同心円を描きます。何周にするかは自由ですが、7の倍数で決めてください。

なぜなら7というのは完成を意味する数だからです。次にマンダラ中央の一番小さい円の中心からまっすぐ上に向かう線を引きます。一番外側の円までですね。そして、中心に描いた一番小さな円の上側（上に伸びる線）から文字を書き始めます。時計回りに書き進め、最初の小さな円が埋まったら、

とは、無限なる世界と共に発生した神なる言葉です。無限なる光、無限なる調和、無限なる平和などといった言葉です。

神の響きを持っている言葉なら、どんな言葉を書いてもいいのです。もしくは49の光明思想の言葉から選んでもいいでしょう。一つの言葉を書きつづけてもいいし、いろんな言葉を書いてみてもいいでしょう。色も一色で書き上げてもいいし、いろんな色を使って模様をつけてみるのもいいでしょう。そして出来れば、書いている間、息を止めて書いて欲しいのです。

書く時に息を止める。そして息継ぎする時は書かない。また息を止めて書く、というやり方で書いてください。ただし無理なようなら、息を止めて書いてもかまいません。

Q. なぜ書く時に息を止めるのですか。

A. 私たちが息を止めている間に宇宙のエネルギーや光は集めて入ってきます。そして書いた文字にすごいエネルギーが注ぎ込まれるのです。しかし決して無理をなさらないでください。毎日少しずつ練習してゆけば、どのくらい息を止められるのか、自然に分かってきます。息を止めながら光に満ちた言葉を書きつづけることによって、あなたの細胞の一つひとつが活性化してきます。

ですから、あなたにふさわしいペースがつかめるようになって、体も心も生き生きとしてくるでしょう。

でも、どうしても息を止めて書くことは出来ないという方がおられるかもしれませんが、どうぞご心配なさらないでください。ご自分の肉体を信じて、無限なる叡智の導きのままに、心を込めて書いてください。そうすれば自然とうまくなります。

Q. 次に地球世界感謝マンダラについてお話ししていただきたいのですか……。

A. 地球世界感謝マンダラとは、地球世界に存在するものに対して感謝の言葉を書いたマンダラです。これは、大地、海、山、鉱物、植物、動物、肉体、水、食べ物、空気、太陽、天象（雨、風、雪、星々……）などに対して感謝や敬意を表わす素晴らしい方法です。

このマンダラを書く時には、一つだけ初めにしなければならぬことがあります。感謝の言葉を書く対象（山、海、大地など）に向かって、短い宣言を行なうのです。例えば食べ物への感謝の言葉を書くのであれば「人類を代表して、食べ物さんに感謝いたします」などといった類（たぐい）の言葉を述べます。その内容は長くても短くてもかまいません。食

像してください。人間があなたの上で、あなたの痛みにおかまいなしに、核実験や傍若無人な振る舞いをしています。

しかしそこに感謝の光が注ぎ込まれたならば、きっとあなたは元氣を取り戻してよみがえり、再び人類を愛し、彼らに必要なものを与えつつけるでしょう。地球世界感謝マンダラは、そんな癒しの光とエネルギーを発するのです。このエネルギーは地球のすべてのものに働きかけるのです。自然界は、人類の心無い振る舞いに傷つき病んでいます。自然界のエネルギー磁場は人類に荒らされ、今や崩壊寸前なのです。

しかしながら、みんなが地球世界感謝マンダラを描いたら、必ず自然はよみがえり、自然災害が起こることもなくなつてゆくでしょう。このマンダラにはそんな力があるのです。ですから、描いてみようという心が湧いたら、一枚でもいいから是非描いて欲しいのです。たった一枚でも大きな働きをするのですから。

Q. 光明思想マンダラにはどんな働きがありますか。

A. 無限なる光明の言葉をマンダラに書くということは、その言葉通りの私たち自身の未来を創っているということでもあります。自分の未来を創るということは、自分がこうなりたいといった願いを自分に吹き込むことです。光明思想マン

ダラを前に置いて、それを見ながら宣言しますが、食べ物がある場合、食べ物に無い場合は、食べ物写真でもかまいません。

Q. 一つの地球世界感謝マンダラに複数の対象物への感謝を書いてもいいでしょうか。

A. もちろん自由です。一つのマンダラに幾つかの対象物への感謝を書いてもかまいません。ただし、事前にその対象物の数だけ宣言をしてください。

Q. どんな言葉を書けばいいのでしょうか。

A. それは自由に考えてください。例えば大地への感謝を書きたいならば、「大地さん有難う」とか「愛する大地さん」とか「氣高き大地よ」とか「大切な地球さん」というように何でもいいのです。

Q. 地球世界感謝マンダラにはどんな働きがありますか。

A. ご存知のように言葉は力とエネルギーを持っています。特に感謝の言葉には、すごい力があります。なぜなら感謝は光そのものだからです。感謝の光は疲れを癒し、苦痛を和らげ、活力をよみがえらせる力があるのです。

もしもあなたが地球であるとしたら、どのように感じるか想ダラを描く作業を通して私たちは、その無限なるものを潜在意識の中に、自分の肉体に、自分の周りの気に、徐々に染み込ませてゆくのです。

あなたが誰かを深く愛せるようになったら、「無限なる愛」という言葉を、調和を望んでいるならば、「無限なる調和」という言葉を、もつとエネルギーが欲しければ、「無限なるエネルギー」という言葉をマンダラに書いてゆくのです。あなたの理想とするものが何であつても、光明思想マンダラを描くことによって、その理想とするものを宇宙根源の世界から引き出し、あなたの魂に浸透させ、あなたの人生に形として現わしてゆくことが出来るのです。

Q. このマンダラについてももう少し具体的に教えていただけますか。

A. マンダラは波動の世界で繰り広げられる神秘的な働きです。でも出来るだけ詳しくお話ししてみましよう。

マンダラはレンズのような働きをします。マンダラを描いていると、私たちはそのエネルギーを感じますが、マンダラが完成するまでその力は、フルに発揮されていないのです。マンダラの最後の行が埋まり、最後の文字が記された時、そのマンダラの中心が開き、宇宙根源のエネルギーが流れ込む

のです。

詳しく言うと、マンダラに流れ込んだ宇宙エネルギーは、いったんマンダラの中心に集まります。そして中心に集まった宇宙エネルギーが、今度はマンダラ全体に流れ出し、巨大な宇宙エネルギーの磁場を作り出すのです。書いた言葉だけではなく、マンダラ用紙そのものが宇宙エネルギーの強力な発信源となるわけです。

完成したマンダラは、それからずっとこの物質の世界に、神の光を放ちつづけるのです。

海への感謝を綴ったマンダラは夜も昼も、海に対して感謝の波動を送りつづけます。その波動は津波や海難を引き起こす要因を常に鎮（しず）めつづけているのです。植物への感謝を綴ったマンダラは、元気を無くした木々や花や草をよみがえらせるエネルギーを常に発しつづけます。

また無限なる健康とか無限なる幸せなどと、光明の言葉で満たされたマンダラは、常に描いた本人を光の波動で照らし、潜在意識を浄めながら、その人の望んだ健康と幸せを実現していくのです。

Q. この時期に個人のマンダラを描くということに何か深い意味があるのですか。

根源の世界から届きました。描き方は、他のマンダラと同じです。

Q. それは、なぜ宇宙神マンダラと呼ばれるのですか。

A. 我即神也、人類即神也という言葉には、私たちを宇宙法則に乗せ、宇宙神につなぐ波動が出ているからです。これを描く時、私たちの肉体に宇宙根源のエネルギーが流れ込みます。そして描いているマンダラにも流れてゆきます。このエネルギーが元となって、宇宙根源の波動を発するマンダラが出来上がるのです。

Q. 宇宙神マンダラの特徴とはどういったものでしょうか。

A. 宇宙神マンダラの中心は、そのまま宇宙根源の世界につながっていますから、マンダラを通して宇宙根源のエネルギーがダイレクトにこの物質界に働きます。

宇宙神マンダラを描く時、流れてくる宇宙根源の神秘なるエネルギーによって、私たちは本住の地、心のふるさとを思い出すのです。さらにこのマンダラは私たちの遺伝子や意識に作用して、私たちを宇宙と一つに調和させてゆくのです。

私たちがこの本来の心のふるさとを思い出せば、自ずと争いの波や混乱は鎮まり、私たちは宇宙というフィールドで、一つのものだということが理解できるようになるのです。協

A. それは人類が今まさに真理に目覚めようとする時期を迎えているからです。もつと以前だったら、ほとんどの人にとつ

て自分がマンダラを描けるなどということは、思いもよらないことだったでしょう。たとえマンダラのことを知っても、

“ああ、それはえらいお坊さんがやることだ”とか、“誰か他の人がやることだろう”と考えたでしょう。しかし地球が高次元の精神文明にシフト（移行）しようとするこの時期になって、多くの人々が目覚めはじめました。彼らは自分の精神性に目覚め、自分が創造主だということに気づき始めたのです。それで自分でマンダラを描けるようになったのです。

宇宙神マンダラについて

Q. 次に宇宙神マンダラについてお話していただきたいのですが。

A. 宇宙神マンダラには二種類あります。一つは我即神也のマンダラです。

“我即神也”という言葉は、宇宙根源の世界からひびいてきた言霊（ことだま）で、私は神であるという意味です。

もう一つは人類即神也のマンダラで、人類は本来みな神であるということを表わすものです。この二つのマンダラは宇宙

道に逸れることなく、まっすぐ真理に沿って自己を高め上げてゆくことが出来るのです。

Q. 宇宙神マンダラもやはり、前の二つのマンダラ同様にレズのような働きをするのですか。

A. もちろんです。前にもお話したように、マンダラに流れ込んだ宇宙エネルギーは、いったんマンダラの中心へと集中してゆきます。そして今度はそこからマンダラ用紙全体にすごいエネルギーが流れてゆきます。そしてこの後、3次元世界（地上）に流れ出てゆくのです。

我即神也のマンダラの場合、宇宙エネルギーは、まずそれを描いた人に共鳴します。それからその人と生活を共にしたり、気が合ったりする、同じような波動を持つている人たちにも届きます。人類即神也のマンダラは、描いた人と人類全体にエネルギーを送ります。

マンダラは描き上がった途端、そこから宇宙根源のエネルギーが絶えることなく流れ出し、それはずっとこの3次元世界に放たれつづけるのです。

Q. マンダラのエネルギーが強すぎて危険というようなことはありませんか。

A. いいえ、そんなことはありません。マンダラはそれ自体が完璧な叡智を備えていて、その人に必要な分の、その人に合ったエネルギーを与えます。穏やかなエネルギーが必要な時には、そんなエネルギーが送られます。マンダラは、私たちが目覚め、変化するためにどのくらいのエネルギーが必要かを知って、強めたり弱めたりするのです。